



2017年4月7日

アイベックスエアラインズ株式会社
株式会社ジャムコ

航空機整備におけるパートナーシップ協定を締結

アイベックスエアラインズ株式会社(本社:東京都江東区・代表取締役社長:浅井孝男、以下 IBEX)と株式会社ジャムコ(本社:東京都立川市・代表取締役社長:大喜多治年、以下 ジャムコ)は、本日、協力関係の強化及び IBEX の運航拠点である仙台空港を中心とした地域経済の更なる活性化を目指し、「パートナーシップ協定」(以下 協定)を締結しました。

記

1. 協定の目的

以下の視点で Win-Win の協力関係の強化を図ることで、仙台空港を中心としたリージョナル・エアライン事業としての新たな整備部門におけるビジネスモデルを創出します。

- (1) 独自の機材品質管理体制の再構築
- (2) 航空機整備にかかわる費用の更なる適正化に向けた取り組みの強化

2. 協定の概要

- (1) IBEX の運航する航空機の重整備並びに機材改修作業における連携・協力
- (2) IBEX の運航する航空機のライン整備作業並びに修復支援における連携・協力
- (3) IBEX とジャムコの人材交流並びに資格者養成

3. 参考

(1) IBEX について

IBEX は、仙台空港を運航拠点としたリージョナルエアラインです。ボンバルディア CRJ700 型機 8 機・CRJ200 型機 1 機を所有し、国内 14 路線・1 日 54 便を運航しています。2017 年サマーダイヤの路便計画においては、仙台＝福岡線を増便するなど仙台発着路線の選択と集中を図り、利便性の高いネットワークを提供しています。また機材については、CRJ200 型機から CRJ700 型機への更新及び機種統一を完了させ、運航品質の向上と生産体制の効率化を推進します。

(2) ジャムコについて

ジャムコは、1955 年に航空機の整備専門会社として創業以来、航空機整備を事業の柱に国内の航空機産業の発展に並走してその活動を広げてきました。その後、航空機内装品等の製造事業を手掛け、ボーイング社やエアバス社といった大手航空機メーカーのほか、国内外 100 社以上のエアラインに供給しています。また、2014 年には航空機シート事業に本格参入し、ファーストクラスやビジネスクラスといったプレミアムシートの供給も開始しています。



ジャムコ社大上克裕 代表取締役副社長執行役員（左）と当社代表取締役社長 浅井孝男(右)



IBEX CRJ700 型機

お問い合わせ先

アイベックスエアラインズ株式会社 広報担当

株式会社ジャムコ 経営企画部

電話 03-5606-3337

電話 042-503-9146